

” 次世代 ” 頑張ってます

満開の桜の中、3月31日に待ちに待った我が十一中クラブの番です。十一中クラブはすぐ練馬区という中野区の中でも北に位置している緑野中(旧十一中)で活動しています。

代表はパドル名人、漬物名人、山菜博士の佐藤ミヤ子さん。

約30年前に活動を開始した、とても伝統あるクラブで、約25年位前に、故近藤敏子さんから佐藤さんが引きつがれました。

「目指せAクラス」という名目の元、故茂木さんの指導で厳しいなかにも愛情たっぷりの練習で声を掛け合いながら頑張り、クラブ員のほとんどがAクラスになりましたというクラブです。

「昔は、元気印大会(現百歳ミックス大会)を実施したこともあり、ミニ大会もよくやりましたね」佐藤さんと、取材に同行した杉山さんが懐かしそうに話していました。

この頃はパドル人口が少なかったので、この体育館で出来たのでしょうか。

クラブ員は佐藤さん、本間さん、宮本さん、伊藤さんと大川が始めて、一年後に日高さんと娘の真里奈、新しく田副さんが加わり、女性ばかり8名のクラブです。

コートが3面とれてとても環境に恵まれています。

春の大会で日高さんと真里奈の二人がAクラスで入賞できました。十一中クラブの皆さん、ビジターの皆さんご指導いただきありがとうございます。



この日は大会の前ということもあり、たくさんのビジターの方が来て下さり、総勢19名の試合です。

「いろんなタイプの方と交流ができとても楽しかった」と声がきかれ嬉しい限りです。残念なことに佐藤さんはこの三月でクラブ代表と理事を退くことになりました。

永い間本当にお疲れさまでした。

